

# らぷらす

## ライブラリーニュース Vol.32



### 女性が主人公、女性が描く主人公

今号で取り上げる図書資料は、女性が主人公となる小説や、女性が描き出す新しい主人公、埋もれがちな女性の声を集めた聞書集などです。コロナ禍の下、多くの人が自立的な行動を抑制されて不安や抑うつを感じたり、自己決定ができないストレスにさらされています。

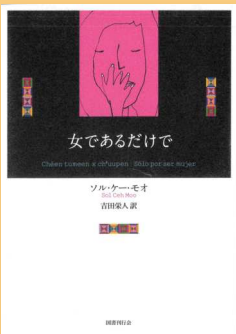
らぷらすの「女性のための悩みごと・DV相談」では、5月から相談時間や曜日を拡大、7月からはメール相談を新設しました。在宅勤務や外出自粛要請の結果、在宅時間が増大したことにより、配偶者らによる暴力(DV)や児童虐待の増加が懸念されたためです。

今年度実施の「女性のためのブックカフェ」では、「困難な状況にある人がどん底から生きる勇気を見出すような本が読みたい」という声が寄せられました。こんなご要望に応えられる図書紹介をらぷらすはしていきたいと思えます。

(※偶数月第2月曜日開催)

#### 『女であるだけで』

ソル・ケー・モオ 著  
吉田 栄人 訳  
国書刊行会



夫を殺したオノリーナは弁護士テリアの尽力で恩赦となる。メキシコ生れの作者は、夫の視点・弁護士の視点を交えて事件までの経緯を描き、オノリーナの供述から女性

への暴力、先住民差別の構図を浮き彫りにする。

#### 『少年の名はジルベール』

竹宮 恵子 著  
小学館



少女漫画で革命を！「風と木の詩」原型の誕生から連載の獲得までを背景に、話せる友の大切さ、葛藤や憧れを綴る。長年の読者にも、これから読む人にも、ベテラン漫

画家の若き日々が、我が事として届く。

#### 『戦争は女の顔をしていない』

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著  
三浦 みどり訳  
群像社



戦争について書かれたものは多いが、その多くは「男の言葉」で語られている。看護婦や軍医だけでなく兵員でもあったソ連の従軍女性たちの物語を書きたいと、ウクラ

イナ出身の著者が聞き書きした500人を越える女たちの言葉。

### 「女性の主人公」に関連する図書・資料



『彼女は頭が悪いから』  
姫野 カオルコ 著  
文藝春秋



『娘について』  
キム・ヘジン 著  
古川 綾子 訳  
亜紀書房



『少女と魔法』  
ガールヒーローは  
いかに受容されたのか  
須川 亜紀子 著  
NTT出版



『ペンをとる女性たち』  
フェリス女学院大学 編  
翰林書房

#### お知らせ



「コロナ禍」関連の特集多数。  
雑誌コーナーでごらんください。

### らぷらす資料コーナー（ライブラリー）利用案内

◆らぷらす資料コーナーでは、およそ2万1千冊の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。◆運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用者登録ができます。◆1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です(AV資料1週間まで)。◆貸出中の場合は予約ができます。◆図書資料はらぷらすのホームページから検索可能です。

開館時間	9:00-22:00	休館日	毎月第3月曜日(祝日) の場合はその翌日 及び年末年始
貸出時間	9:00-21:30		





『足をどかしてくれませんか。』  
メディアは女たちの声を届けているか』

林 香里 編  
亜紀書房

法律や制度は国が作るが、メディアは風土を作ってしまう。メディアは多くの人意識に与える影響が大きいにもかかわらず、圧倒的に男性優位の業界。相変わらずの「理想の女性」イメージの固定化と氾濫は、時代の変化を反映せず、女たちのリアルな声も消されている。ジャーナリスト、研究者らがメディアのあるべき姿を考える。



『少女だった私に起きた、電車のなかでのすべてについて』

佐々木 くみ/エマニュエル・アルノー 著  
イースト・プレス



『才女の運命』

インゲ・シュテファン 著  
フィルムアート社

女性の立ち位置



『母ふたりで“かぞく”はじめました。』

小野 春 著  
講談社

“何の変哲もないおばちゃん”の著者、中身“おやっさん”のパートナーと、子どもたち。五大家族への道程をテンポよく伝える。親子や友人、周りの人たちとの関係の築き方に暖かさがあり、また「想定外」と、やる気のない国を相手にした「結婚の自由をすべての人に」訴訟の話にはユーモアがある。世を動かした当事者が力みなく伝える日常。



『シングルファーザーの年下彼氏の子ども2人と格闘しまくって考えた「家族とは何なのか問題」のこと』

花田 菜々子 著  
河出書房新社



『すべての夫婦には問題があり、すべての問題には解決策がある』

犬山 紙子 著  
扶桑社

家族について



『#ゴミ捨てる』  
うちの旦那はティッシュをゴミ箱に捨てられない』

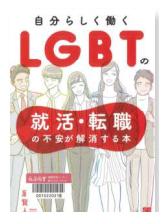
gomi\_sutero 著  
KADOKAWA

「奇想天外」な散らかし方をする夫に、九州弁で爽快にツッコむ妻。日常のちょっとした出来事を切り取ったインスタグラムは、「あるある」「うちもそう!」と多くの人共感呼び、フォロワー数は80万人を超える人気となっている。数々の日用品写真が、日々の「イライラ」を「おもしろい」に変え、家族のあり方を見直すヒントを与えてくれる。



『女は好きなことを仕事にする』

大原 真樹 著  
大和書房



『自分らしく働くLGBTの就活・転職の不安が解消する本』

星 賢人 著  
翔泳社

労働について

絵本

『くつしたパーティ』

ティナ・オーケ 作  
石津 ちひろ 訳  
主婦の友社



きょうはリリーのうちでくつしたパーティ。ティナが準備をしていると、おきにいのりくつしたにあながあいてる。「そうだ!みぎとひだりべつべつのくつしたをはけばいいんじゃない?!」歩きだしたティナに向かって、みんなは口々に…。

コミック  
エッセイ

『旦那がマッチングアプリでやりとりしてる相手は嫁です』

もなか 原案/蒼衣 ユノ イラスト・漫画  
KADOKAWA



マッチングアプリで出会い、結婚した二人。嫁は旦那の携帯に届くマッチングアプリからの新着メッセージを見つけ…もしかしてまた浮気?!証拠を掴むため潜入捜査する嫁にまんまと掛かる旦那。インスタグラムで話題になった実話エッセイ。

DVD

『若い女』

レオノール・セライク監督・脚本  
フランス 2017年



10年間同居していた恋人に捨てられたアラサー女子、ポーラ。家もお金も仕事も失い、逆切れキャラの性格が災いして頼れる友もないのに、自由気ままで奔放。そんな彼女が、生きるためにもがき、あがき、奮闘していくヒューマンストーリー。



らぶらすHP



Facebook



Twitter